

2024年度 教育委員会 年間教育計画

クリニカルラダーレベル I を目指す人 1年目

ニーズをとらえる力・ケアする力

	ケアの改善	感染 身体面(疾患や障がい) ケアの提供	身体面(疾患や障がい) ケアの提供	ケアの提供	ケアの受け手の全体像 ケアの改善	ケアの受け手の全体像 ケアの改善	ケアの提供 ケアの改善	安全	救命救急	
研修名	集合看護技術研修				看護記録研修①	看護記録研修②	シャドウ研修	医療安全研修	フィジカルアセスメント研修	
目標	①臨床で看護実践に必要な知識や技術を体験する ②当院の看護手順に沿って看護技術を体験する ③看護専門職業人・社会人としての自覚を持つ				看護実践に必要な看護記録を学ぶ	①入院時の情報収集・アセスメント・看護計画立案について学ぶ ②入院時の看護記録について学ぶ	指導者の看護を見て、看護実践やコミュニケーションの方法を学ぶ	医療安全に関する基礎的な知識を学ぶ	急変対応について学ぶ	
ねらい	①臨床で看護実践に必要な知識や基本的な看護技術がわかる ②当院の看護手順に沿って看護技術を体験できる ③看護専門職業人・社会人として必要なことを理解できる				①看護記録の目的や記載ルールがわかる 看護計画の立案、計画に沿った記載方法がわかる ②入院患者に必要な記録と入力方法がわかる ③業務に必要な情報収集の方法がわかる	①患者を4側面(身体面・精神面・社会面・スピリチュアル)からの情報収集がわかる ②情報収集からアセスメントし、全体像をとらえ、看護計画がわかる ③入院時に必要なカルテ記載項目がわかる ④入院時の記載項目の入力方法がわかる	①自部署での勤務の中で、看護実践や時間管理・コミュニケーションなどがわかる ②日勤・夜勤業務をイメージできる	①患者誤認防止に必要な方法がわかる ②患者誤薬防止対策に必要な知識と対策方法がわかる ③療養環境で危険を予測し必要な対策がわかる ④転倒・転落防止対策に必要な知識がわかる ⑤インシデントレポートの意義・目的がわかる	①一次救命処置(BLS)をシミュレーションで実施し、急変時の看護がわかる ②SBARを使用した報告の仕方がわかる	
研修内容	①看護部の紹介 ②看護師長との交流会(自己紹介・部署の紹介) ③看護部の教育体制	①看護部のルールと看護基準・マニュアルの活用 ②看護専門職業人として理解しておきたいこと(看護職の責務・倫理綱領・社会人基礎力) ③新人教育の進め方・クリニカルラダー・新人教育マニュアル説明 ④コミュニケーションと接遇 ⑤電子カルテ操作	①感染対策(コロナ対応も含む)・環境整備 ②フィジカルイグザミネーション バイタル測定・聴診・経過表入力 ③排泄介助・導尿・バルンカテーテル・おむつ交換・浣腸	①検体採取 ②採血 ③点滴 ④各種注射 ⑤血糖測定 ⑥インスリン ⑦ME室で管理している物・輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱いと実施・物品の管理	①吸引・酸素 ②経管栄養 ③日常生活援助(移乗の介助・食事介助・口腔ケア)	①看護記録マニュアル・看護記録とは ・看護必要度とは、看護必要度の入力 ・入院診療計画書の作成の注意点 ・DPCの入力方法 ②経時記録の入力とルール ・標準看護計画とは ・SOAPの書き方 ③情報収集の仕方	①情報収集・アセスメントし、患者の全体像を捉える ②看護計画を立案する ③入院時に必要な記録 ④入院時の入力チェックリストに沿って入力	①日勤シャドウ 4月1回実施 勤務開始時は必ず ②夜勤シャドウ 6月JZ勤務を1回 ③逆日勤シャドウ 6月下旬(バア勤務終了時)	①患者誤認防止 ②誤薬防止の方法を学ぶ ③KYT(イラスト) ④転倒転落評価 ⑤転倒転落防止対策について ⑥インシデントレポートの意義・目的	①一次救命処置(BLS) ②SBARの報告
方法	講義・演習	講義・演習	講義・演習	講義・演習	講義・演習	講義・演習	各部署でOJT	講義・演習	講義・演習	
講師	看護部	看護部 教育委員	感染認定看護師 牧野副看護師長 教育委員	教育委員 糖尿病認定看護師 白根弘美(インスリン・血糖)	教育委員 リハビリスタッフ	記録委員	記録委員 寺岡副看護師長・ 岡田百合子	各部署の指導者	医療安全管理者 和田美代子看護師長	院内フィジカルインストラクター 安井幸平・寺岡副看護師長
日時	4/2(火) 14:15~16:45 ※16:45~各部署 へあいさつ	4/3(水) 8:30~17:15	4/4(木) 8:30~17:15	4/5(金) 8:30~17:15	4/8(月) 8:30~17:15	4/9(火) 8:30~17:15  4/10(水) 8:30~12:00	5/13(月) 8:30~12:00  ※午後フォローアップ 研修	①日勤シャドウ 4月1回実施 ・勤務開始時は必ず ②夜勤シャドウ 6月JZ勤務を1回 ③逆日勤シャドウ 6月下旬	6/26(水) 8:30~12:00 ※午後フォローアップ 研修	7/17(水) 8:30~12:00

クリニカルリーダーレベル I を目指す人 1年目

	ニーズをとらえる力・ケアする力				協働する力	意思決定を支える力		4つのすべての力	
	ケアの提供	身体面(疾患や障がい)ケアの提供	身体面(生活)精神面倫理	身体面(生活)精神面倫理	コミュニケーション	意思決定支援	倫理		
研修名	褥瘡・NST研修	多重課題研修	高齢者患者体験	認知症研修	メンバーシップ研修	市町村新規採用者研修	看護倫理研修(1・2年合同)	看護実践とは	看護観研修
目標	褥瘡・NSTの基礎的な知識を学ぶ	時間の切迫した中で優先順位の考え方を学ぶ	高齢者体験をおこない、高齢患者の特徴、入院生活の思いを体験する	認知症の基礎的な知識を学ぶ	メンバーシップを発揮するために必要なことを学ぶ		看護師として生じる看護倫理問題について学ぶ	①看護実践の責務と内容を学ぶ ②クリニカルリーダーを理解する	自己の看護観を明らかにする
ねらい	①褥瘡評価・NST評価方法がわかる ②脆弱な皮膚のスキンケアと褥瘡予防の基本がわかる	①時間の切迫した中で優先順位を考えた対応ができる ②患者に必要な観察項目を理解し、得られた情報から異常を察知し、報告できる	①高齢者の体験装具を使用して高齢者の身体の特徴が理解できる ②病室で体験することで患者の思いがイメージできる ③体験を通して、体験からの学びと高齢者ケアの自己課題を明らかにできる	①認知症の症状を理解し、患者の接し方がわかる	①チームの一員として、自分の役割を理解できる ②メンバーシップを発揮するために必要なことを理解できる(情報交換・情報伝達スキル)	詳細は別紙 公務員倫理などの学習	①看護に必要な倫理的問題がわかる ②身近な事例を4分割のシートを用いて分析する方法が理解できる	①看護実践の責務、内容、方法について理解できる ②クリニカルリーダーと看護実践の関連について理解できる	現在の看護観(看護を行うにあたり大切にしていること)を明確にできる
研修内容	①褥瘡評価・NSTの評価方法 ②脆弱な皮膚のスキンケアと褥瘡予防の基本	①時間の切迫した中で優先順位を考える(机上シミュレーション)	①部署で高齢者の体験をする ②体験を通して日頃の自己の看護を振り返り今後課題を明確にする	①認知機能低下のある患者のコミュニケーション・接し方	①メンバーシップとは ②メンバーシップを発揮するため必要なこと	後日案内 5/7(火) 8(水) 5/14(火)・15(水) いずれか  出張伺い・復命書、研修報告書の提出	①看護倫理とは ②4分割シートの分析方法について学ぶ ③事例検討	①看護とは ②看護実践の基準(看護業務基準) ③クリニカルリーダーの活用方法について	①看護師を目指したきっかけや日々の看護の中で大切にしていることを語り合う ②自己の看護観を文章化する
方法	講義・演習	講義・演習	体験	講義・演習	講義・グループワーク		講義・演習	講義・グループワーク	講義・グループワーク
講師	皮膚排泄ケア認定看護師 小笠原幸子 NSTチーム員	教育委員 実地指導者	部署の教育担当者 及び実地指導者	認知症ケア委員会 5南委員・4北委員	教育委員		教育委員	教育委員看護師長	教育委員
日時	8/7(水) 13:30~16:30	9/26(木) 8:30~10:30 ※この後フォローアップ研修	9月~11月に各部署で調整  ※11/26認知症ケア研修までに体験すること	11/26(火) 13:30~15:30	3/3(月) 13:00~14:30  ※この後フォローアップ研修		1/10(金) 13:30~15:30	6/26(水) 13:00~14:30  ※この後フォローアップ研修	2/3(月) 13:30~15:30

クリニカルラダーレベル I を目指す人 2年目

	ニーズをとらえる力・ケアする力				協働する力		意思決定を支える力	4つのすべての力	
	身体面(生活)	安全	救命救急 身体面(疾患や障がい)	ケアの改善	身体面(生活)	チームでの協働	地域を見る視点		倫理 スピリチュアルな側面
研修名	看護理論研修	医療安全研修	フィジカルアセスメント研修	看護記録研修	訪問看護同行研修 (卒後2.3年共通)	社会人基礎力研修	退院支援研修	看護倫理研修 (1・2年合同)	ケースレポート 発表会
目標	看護理論と実践を結び付け、根拠のある看護の実践ができる	リスク感性を磨くための方法を学ぶ	急変対応について学ぶ	4側面の情報からアセスメントをおこなない看護計画を立案する	訪問看護師に同行し在宅療養の現状を学ぶ	2年目の看護師に求められる役割を理解し、自己課題と取り組み方法を明らかにする	退院支援を行うための基礎的知識を学ぶ	看護者として生じる看護倫理問題について学ぶ	理論を用いて根拠のある看護を実践し発表する
ねらい	①看護理論の基礎がわかる ②看護実践を看護理論に結びつけて考えることができる	①看護場面での危険を予測し、対策を立てる事ができる(KYT) ②インシデント発生時の記録の必要性がわかる ③インシデントレポートの書き方・注意点がわかる	①急変時の行うフィジカルアセスメントがわかる ②急変時のとるべき行動を体験できる ③急変時の正しい記録や報告がわかる	①4側面から情報を収集、アセスメントし、標準看護計画が導き出せる ②自己の記録(アセスメント、SOAP)を振り返り、問題点と今後の課題を明確にできる	①生活者としての利用者を知る ②在宅での介護と環境を知る ③退院指導がどのよう継続されているか評価する	①2年目看護師に求められる役割を理解できる ②自律的・主体的に取り組むために必要な力を理解できる	①地域包括ケアシステムがわかる ②退院支援の流れがわかる	①看護に必要な倫理的な問題がわかる ②身近な事例を4分割シートを用いて分析する方法が理解できる	①自らが実践した看護を看護理論を用い振り返る ②看護を振り返り、自らの看護観を明らかにできる
研修内容	①看護理論とは ②看護実践と看護理論	①KYTとは ②KYTをやってみよう ③インシデント発生時に必要な記録とは ④インシデントレポートの記載方法	①一次救命の対応(挿管介助・12誘導心電図を含む) ②フィジカルアセスメント ③急変時の記録・報告(SBAR)	①自分の立案した看護計画を振り返ろう ②自己の記録(アセスメント、SOAP)を振り返る ③振り返りの中から今後の課題を明らかにして明日からの記録に活かそう	①同行訪問の計画を立案し、訪問看護見学記録用紙を作成して学びをまとめる	①2年目看護師に求められる役割とは ②自律的・主体的に働く力とは ③疑問を持ち、考え抜く力を付けるためには ④現状を自己分析して自己課題を語り合う	①地域包括ケアシステムについて ②退院支援の流れ	①看護倫理とは ②4分割シートの分析方法について学ぶ ③倫理事例検討	①ケースレポートの発表 ②ケースレポートの学びの共有
方法	講義・グループワーク	講義・グループワーク	講義・グループワーク	講義・グループワーク	訪問看護同行	講義・グループワーク	講義	講義・グループワーク	発表
講師	島根大学 秋鹿都子助教授	医療安全管理者 和田美代子看護師長	院内フィジカルインストラクター 大原渚副看護師長・岩谷秀人	記録委員 藤貞理恵副看護師長・森本ちひろ	各部署の教育担当者(副看護師長)	教育委員	退院支援チーム会 安井由佳・宮脇有紀	教育委員	教育委員
日時	8/20(火) 9:00~12:00	9/4(水) 13:30~15:30 ※このあとフォローアップ研修	10/2(水) 13:00~17:15	12/4(水) 13:00~17:15	部署間で日程調整 ※2.3年のどちらかで1回実施する	5/20(月) 13:30~15:00	7/30(火) 14:00~15:00	1/10(金) 13:30~15:30	2/19(水) 10:00~12:00 ※午後、フォローアップ研修・ラダー認定面接